

未来社会のデザイン： 都市・インフラの50年先を語る

市毛博之

東京科学大学病院 総合診療科

東京科学大学 茨城県北西部地域医療学講座助教

常陸大宮済生会病院 特任内科部長

茨城県地域医療支援センター キャリアコーディネーター

1. 自己紹介
2. 総合診療とプラネタリーヘルス
3. デジタルヘルス
4. 50年後の社会／障害・課題

自己紹介

茨城県常陸太田市出身→水戸一高→自治医科大学

茨城県立中央病院（臨床研修2年）

北茨城市民病院（2年）

なめがた地域医療センター（1年）

城南病院（6か月）、ひたちなか総合病院（3か月）

茨城県立中央病院（1年）

常陸大宮済生会病院（2年）

常陸大宮市国保美和診療所（3年）

■東京科学大学病院（2024年4月～）

■茨城県地域医療支援センター

キャリアコーディネーター（2024年4月～）



東京科学大学 総合診療科



これからの総合診療

Healthcare for All!
すべてのひとに、つながる医療

ひとを診る。未来を拓く。

ひと、そのものと向き合っている。
ひとりひとりと、その暮らしや生き方と。
そこからつながる環境や地域、社会と、
向き合っている。
そこからしか見えない医療の明日を、
社会が進むべき未来を、
ひとりのひととして、切り拓いていく。

Healthcare for All!
すべてのひとに、つながる医療



7/13～TBSテレビ日曜夜9時

総合診療のフィールド

一般住民(健康)
→ 予防・健康増進

診療所
→ プライマリ・ケア

一般病院
→ 二次医療

大学・専門
→ 特殊医療

健康教育

保健・予防

訪問診療

外来診療

入院診療

専門医療・コラボ

集中治療

人類の健康と地球環境の持続可能性を両立させるための学際的な概念
(自然環境と、人間の健康・福祉・公平性を両立した健康概念)

1. 疾病予防・治療
2. 健康格差 (→Equity)
3. 教育・啓発



デジタルヘルス（医療DX、AIなど）

eHealth：健康・医療分野におけるICTの活用

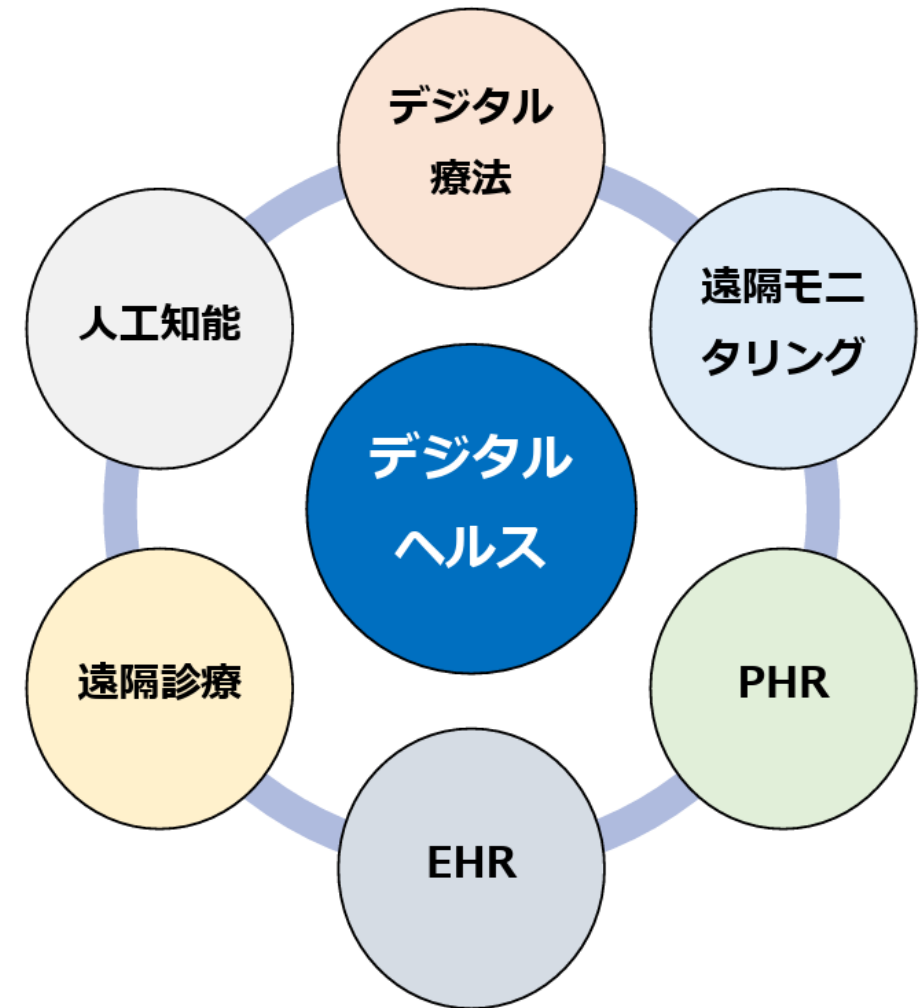
mHealth：モバイル技術を活用した健康支援

高度なコンピュータサイエンス：

AI、ビッグデータ、ゲノミクスなど

* 医療MaaS（Mobility as a Service）

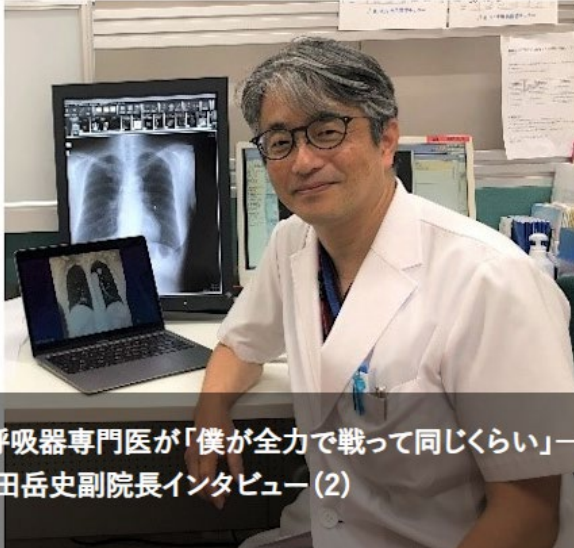
* D to P with N（オンライン診療）



PHR：Personal Health Record

EHR：Electric Health Record

当科スタッフの取り組みの例



AIの読影精度、呼吸器専門医が「僕が全力で戦って同じくらい」——さいたま市民医療センター 石田岳史副院長インタビュー(2)

2022年10月31日(月)



50年後の社会／障害・課題

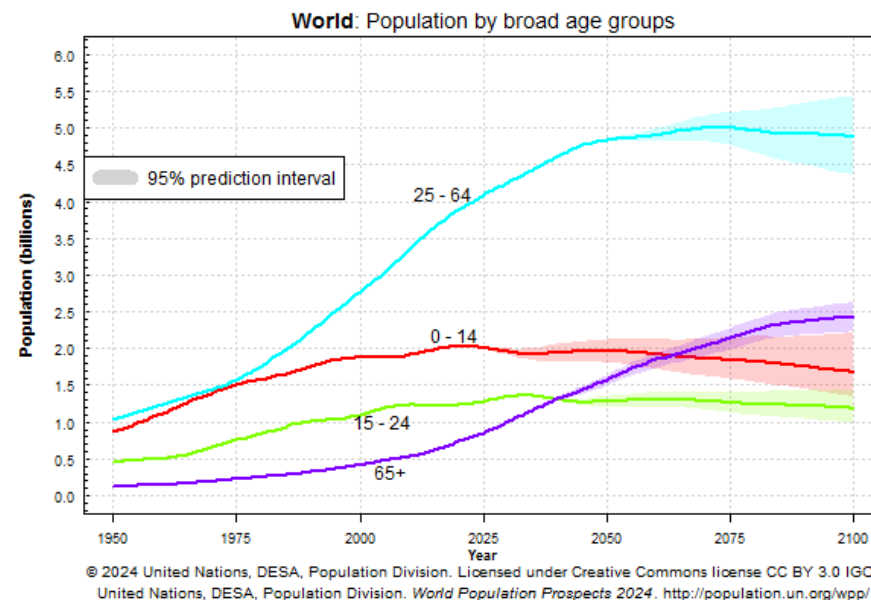
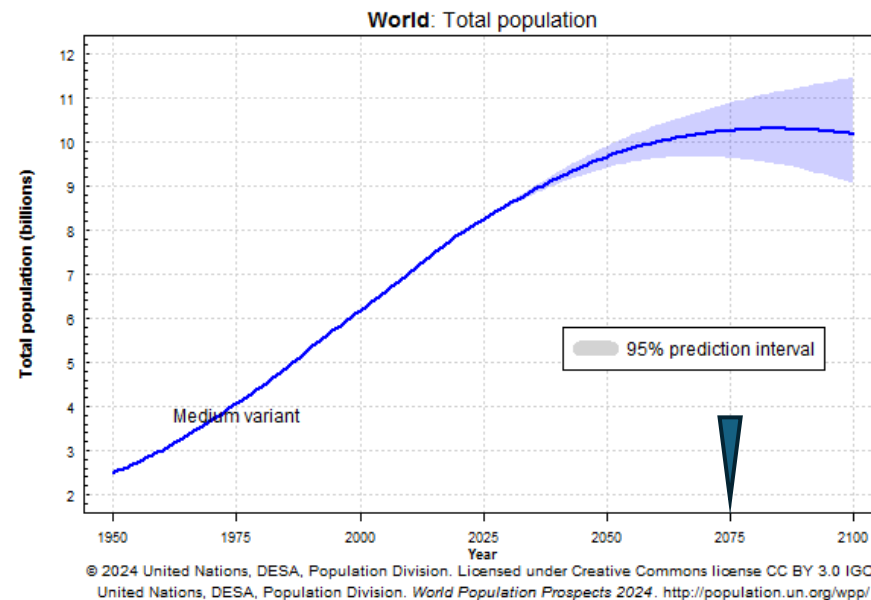
<課題>

- 世界的人口増（2080年頃に約103億人）
出生率の低下、高齢化の進行
- 都市化
- 身体性の低下



<トピック>

- Well-being・適切な個別化
- 都市と地方の循環・持続可能性
- 身体性の回復、ひとの価値





Healthcare for All!

すべてのひとに、つながる医療

